

## 9. 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	県民の生命・財産・暮らしを守る社会資本インフラ整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吉野川第十堰可動堰化事業の工事着工をする。</li> <li>2. 吉野川無堤防地域の完全解消を行う。</li> <li>3. 那賀川水系細川内ダム建設事業の工事着工をする。</li> <li>4. 徳島県沿岸部に高規格海岸堤防の設置を行う。</li> </ol>
2	ずっと居たい 美しいふるさと徳島県	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島市の郊外に高級住宅地を作らなければならない。</p>
3	生態系や交通量予測調査を早急を実施してください	<p>先日 沖洲の埋め立て計画があり、そのために地質調査業務を発注するとの説明が公開された。昔実施したデータとの比較のためらしいが、比較するあるいは現状把握する必要があるのは 生態系等も同じはずだが なぜ対象になっていないのか？ 行政が無視するのは納得できない、生態系も県土整備の重要な要素だと思う。</p> <p>地質調査は年内の工期のようだが 生態系は1年、2年と長期の調査期間を必要とする。また 当然交通量予測とその結果で必要な対策（周辺道路のレイアウトや設備等）を講じることが重要。徳島市ではゴミ処理場を建設の予定だし、中央市場の移転とかを見込むと 造成や建設工事が終わった後を予測し、先手で対策をするのが行政の仕事ではないのか？ あわせて おきのすインドアパークの第三駐車場（一番広い）はゴミ処理場敷地内に設定されているが、これは いずれ使えなくなることを考えて やはり早急に対策をとることを要求する。</p> <p>なお、今の徳島市の副市長がかつて県の県土整備が危機管理部門に在職中に 沖洲地区の液状化について 継続して対策を進める という意味の発言をしていたと記憶している（県発行の文書にも掲載されていた）。能登半島地震では 杭が施工された建物でも倒壊の被害が発生しているのは よくご存じだと思う。液状化対策を怠ることのないように。近年 県の資料に液状化対策が見当たらないので 念のため。</p>
4	高速道路の整備促進等について	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は西日本高速道路株式会社四国支社と徳島自動車道におけるハード面並びにソフト面においての整備促進の意見交換を行わなければならない。</p> <p>※ ハード面では、徳島自動車道（鳴門JCT～川之江東JCT間）の早期の完全四車線化の完成と藍住町に藍住BSの設置</p> <p>※ ソフト面では、上板SAにインフォメーション及び観光案内所の開設、松茂PA、阿波PA、池田PAにそれぞれに売店及び軽食コーナーの開業</p>
5	県民ホールについて	<p>県民ホール。徳島東工業高校跡地への整備はやめてほしいです。</p> <p>文化の森、アステイーとくしま、あすたむらんど。</p> <p>どうして交通の不便なところばかりに整備するのでしょうか。</p> <p>長崎市のスタジアムシティーやサンポート高松のアリーナなど魅力的で行ってみたいと思う。</p> <p>徳島県でももっといいものができるはず。</p> <p>例えば徳島駅前。アミコビル、西新町、徳島市立体育館、藍場浜公園と地下駐車場をホール、アリーナなど一体的に整備されたらどれほどよいかと。</p> <p>一市民の戯言ですが、次の世代が楽しめる暮らしやすい徳島にしていきたいです。</p> <p>よろしく願います。</p>
6	歩道の植え込み（楓）した付近の枝が伸び放題に伸びと草	<p>県道30号線、国府竜王団地西側の歩道に植わっているカエデの下の部分の枝を切ってほしい。伸び放題に伸びているために死角となり、道路から曲がろうとする車が見えずらく、歩道を歩くものにしては危ない。</p> <p>石井マルナカから北へ来たところの橋から北へ、両端の歩道の草も伸び放題に伸びていて歩行者が歩きづらいので、草を早く刈り取りをお願いします。</p>
7	徳島東環状線の昭和町ランプのゴミについて	<p>先日、徳島東環状線の昭和町ランプ（降り口）を通りましたが、両側にすき間なくと言っていいほどゴミが散らかっていて唖然としました。</p> <p>徳島の道路は言われている通り、他県と比べてゴミが多いと思います。</p> <p>まず、当該箇所のゴミの片付けをお願いします。</p> <p>その上で、不法投棄に対するパトロールを実施している姿勢を見せることで少しは抑止力になると思います。</p> <p>ゴミはしらさぎ大橋南岸のランプでも見られます。</p> <p>以上、宜しくお願いします。</p>

## 9. 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
8	無題	阿南市羽ノ浦町宮倉の県道大林津乃峰線（県道130号線）と、県道宮倉徳島線（県道136号線）、県道阿南羽ノ浦線（県道128号線）が交わる交差点（角にガソリンスタンド有）は、4方向とも右折車線が無く、右折車があると、後続の直進・左折車両がつかえて進めず、よく混雑します。また信号も1方向だけ時差式信号ですが、その他は同時に赤になり、右折車を排出しにくいです。今後、小松島市立江町方面に、高速道路の徳島南部自動車道、小松島南IC（仮称？）が出来ると、更に交通量が増え、右折車の為に混雑が激しくなると思うので、思い切って拡張して、4方向共右折車線を新設し、信号も右折同士の矢印の信号を付加する様にしたいと思います。用地取得等に時間がかかると思うので、早目に着手してほしいと思います。
9	JR牟岐線新駅について	○ 令和7年7月22日から徳島地方法務局本局が徳島法務総合庁舎移転に伴って、JR牟岐線の新駅となる「徳島城鷲の門・幸町駅」（徳島法務総合庁舎前・徳島地方裁判所前・徳島中央警察署前・徳島市役所前・ホテル千秋閣前）開業は必ず必要だ。又、徳島県立城東高等学校の生徒の通学の利便性の向上のためにもJR牟岐線の新駅は必要です。 ※ JR牟岐線の新駅開業で、中洲市場が「徳島の上野アメヤ横丁」へと確実に発展する。 ※ 新駅開業の財源は、アメリカ\$をクラウド・ファンディングによつて集める。